

授業コード	JP43010010	開講年度・学期	2020年度前期
科目授業名	刑事政策		
英語科目授業名	Criminology		
科目ナンバー	JAAPP7901	必修・選択	自由選択
単位数	2単位	授業形態	講義
担当教員氏名 (代表含む)	金澤 真理		
科目の主題	現代社会と刑事政策：日本の刑事政策の実態を概観し、諸外国の類似の制度等をも参考にしながら課題を析出する。		
授業の到達目標	人間行動科学の成果を踏まえた犯罪原因論を学び、個人の人権を尊重しつつ、犯罪を犯した者が社会の中で再度生活再建をするためには、如何なる制度が効果的かを考える。		
授業内容・ 授業計画①	<p>以下の計画に従って、講義を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 刑事政策総論：刑事政策の意義、目的 (2) 社会科学の中の刑事政策 (3) 犯罪の実態把握と刑事政策 (4) 犯罪原因論の展開 (5) 刑事制裁制度の歴史 (6) 刑事立法と刑事政策 (7) 刑罰論と犯罪論 (8) 刑罰と保安処分 (9) 保安処分の諸類型：触法精神障害者をめぐる諸制度を中心に (10) 刑罰の執行と猶予制度 (11) 自由刑の理論 (12) 施設内処遇の根拠と実態 (13) 社会内処遇の展開 (14) 仮釈放と保護観察 (15) 期末試験 		
事前・事後学習 の内容	<p>事前学習：事前配布資料を読み、課題を確認する。 事後学習：講義のポイントをまとめ、各種資料を用いて自主的に補充する。</p>		
評価方法	<p>絶対評価 期末試験（70%）および中間レポート（6月中旬頃に提出を求める予定。30%）の合計により評価する。</p>		
受講生への コメント	<p>「最良の刑事政策こそがよい社会政策である」（リスト）という言葉が示すように、刑事政策は社会制度を診断する尺度となる。多様な視角から柔軟な思考をはたらかせて学んでほしい。</p>		
教材	<p>特に指定しない。講義にあたり、資料を配布する。なお、比較的手に取りやすい教科書として、大谷實『新版刑事政策講義』（弘文堂、2009年）、守山正、安部哲夫『ビギナーズ刑事政策(第3版)』（成文堂、2017年）、武内謙治、本庄武『刑事政策学』（日本評論社、2019年）がある。</p>		